第１３２号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX　03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

企業の内部留保ランキング

１位、トヨタ自動車　２０兆８９００億円
２位、三菱 UFJ フィナンシャルグループ　１１兆７５００億円
３位、日本郵政　１１兆７４２億円
（昨年より４７２５億円増）
４位、日本電信電話（NTT）１０兆８４００億円
５位、本田技研工業　８兆７１００億円
６位、三井住友フィナンシャルグループ　６兆６３００億円
７位、日産自動車　６兆３１００億円
８位、みずほフィナンシャルグループ　５兆３２００億円
９位、三菱商事　４兆５７００億円
１０位、ソフトバンクグループ　４兆３９００億円
１１位、キャノン　４兆２６００億円

会社は増員と賃上げに回せ！

日本郵政の内部留保１１兆円以上

今年の春闘交渉で東京支社は1000人を募集していると回答しました（外務550人、内務450人）。この数字は何年も変わっていません。人員不足のために常態的な残業と休息・休憩時間も充分取れない異常な事態です。賃上げ交渉では新入社員に賃上げはされたものの多くの労働者はベアゼロでした。しかも、非正規社員の待遇改善のための原資として正社員に支給している諸手当の廃止、削減するというものでした。内部留保を増やしながら今回の回答は酷いものです。賃上げの原資には内部留保を一部（1600億円）取り崩せば可能です。『内部留保を使って人員の補充と賃上げを』という声を大きくしていこう。

2017年度の大企業の内部留保（連結内部留保）は、前年度比で額・率ともアベノミクス始まって以来、もっとも増えました。900社で399兆1000億円、16年度に比べ29、7兆円も増やしています。（新聞赤旗・6月19日より）